



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2022年
(令和4年) 8月号
NO. 180

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1
TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472
MAIL: info@suishinkyo.net

- 実地研修施設 1 施設が合格 <2面>
- 外国人介護人材マッチングイベント <2面>
- 施設紹介(プレジールの丘・長崎県) <3面>
- ユニットケアワンポイントセミナー再開 <4面>
- 看護師向け研修 初開催 <2面>
- 研修トピックス <2面>
- 介護ニュースダイジェスト <4面>
- 入会施設の紹介 <4面>
- 介護保険委員会 <2面>
- 施設紹介(玄海園・佐賀県) <3面>
- ズバリ回答!人事・労務のお悩み <4面>
- 賛助会員の紹介 <4面>

7月から再開 ユニットリーダー実地研修

2020年3月からコロナの影響で中断していたユニットリーダー研修実地研修。35施設ある実地研修施設のうち、14施設が実習生の受け入れを7月から再開した。そこで実習を再開した2施設を訪問取材した。



▼プライバシーの配慮がしっかりとできていると感じました。ドアをノックしてから入室することや、排泄支援をわからないうちに自然な感じで済ませていることです。

▼自施設は職員都合で決めていることが多いのですが、ここでは利用者の意向を大事にしていると感じました。利用者にとって当たり前のことを当たり前のようにすることの大事さを実感しました。
▼自施設では入居者の部屋の扉は基本的に開けっ放しです。従来型とユニット型の違いは個室かどうかだけで、ケアの方法などは従来型と同じです。実習に来るまで介護施設とはこのようなものだと思っていたので、まさに目からウロコでした。

実習生にインタビュー
実習に来て感じたことは?
▼自分の職場はバタバタしているのに、実習施設は職員の動きも入居者もゆったりしていると感じました。食事介助も一人ずつ目線を合わせて対応していました。



グランパランいまり

訪問施設はグランパランいまり(佐賀)といずれの園(大分)の2施設。実習生4名と受け入れ担当者に話を聞いた。



グランパランいまり

実地研修施設の受け入れ担当者にインタビュー
実地研修再開で施設に変化は?
▼職員全体の気が引き締まりました。実習生からの意見も刺激になります。
▼感染に気を付けて、普段通り行っていますが、自分たちが普段通りにやっていることが実習生から肯定されると職員のモチベーションが上がります。



いずみの園

取材を終えて
実地研修は実習生だけでなく、受け入れる施設にとっても学びの場、互いにプラスになる機会だと感じました。受け入れ担当者の「ユニットケアにゴールは無い」という言葉が印象的でした。(山)

ユニットリーダー研修実地研修
ユニットリーダー研修の座学受講後に実地研修施設で3日間、実習する。介護業務は行わず、受け入れ施設が実地研修施設になるまでの過程を聞いたり、ケアの様子などを見学し、受け入れ担当者から助言をもらったり、受け入れ担当者に質問したりして過ごす。
早番、日勤、遅番のシフトを体験できるスケジュールが組まれている。3日間の実習を通して自施設の課題を改善する計画を立案し、立案した計画をオンラインで発表する。

ユニットリーダー研修講師養成研修会

8月から計4回開催 心構え、伝える技術学ば

8月1日、推進協はユニットリーダー研修の講師を養成するため研修をオンライン開催し、10人が参加した。講師は推進協の懸上忠寿事務局長、尾島朱美研修室長、山崎富美子事務局員が務めた。
懸上事務局長はユニットケアの生まれてきた背景と特徴について説明した。また、ユニット型施設の介護職には介護サービスを提供するだけではなく、入居者の生きがいなど人間の尊厳と誇りを大事にするなど高いスキルが求められると述べた。

山崎事務局員は講師が研修で使用するPowerPointについて、基本操作や作成方法、プレゼンテーション作成のコツなどについて述べた。
尾島室長はユニットリーダー研修の講師としての心構え、講師の役割と必要性、研修の組み立て、グループワークの在り方、コミュニケーションスキルなどについて説明。「準備を怠らない」「受講者の立場で考える」など講師のための12の心得も紹介した。
この研修は4回シリーズで構成されており、2回目以降は8月31日(水)、9月30日(金)、11月14日(月)に開催予定。
個別ケアと自立支援、ケアのマネジメント、住まいの役割、環境の整備、運営計画書の書き方などが取り上げられ、模擬授業も実施する。

介護大学校から

●実務者研修分校 10月1日から募集開始
9月中旬からパンフレット、チラシ、ホームページを活用し、介護大学校主催の実務者研修の周知を行い、10月1日から募集開始の予定です。
●実務者研修 座学(エラーニング)と8日間のスクーリング(介護過程Ⅲ6日間、医療的ケア2日間)で構成されます。
●開校に向けて 準備着々
8月1日、(株)推進協のホームページ(suishinkyo.com)をリニューアルし、「介護大学校からの記事のコーナー」を設けました。今後はホームページのお知らせ欄で実務者研修の進捗状況や介護大学校分校募集説明会の日時など、お知らせいたします。開校まであと4カ月、お力添えをいただきます。(介護大学校担当・佐藤理絵)

開校月	分校(スクーリング会場)
12月	しょうじゅの里三保サテライト(神奈川県)
1月	岐南仙寿うれし野(岐阜県)
2月	しょうじゅの里相模原(神奈川県)
3月	燦燦(岐阜県)
4月	しょうじゅの里三保サテライト(神奈川県)
6月	しょうじゅの里相模原(神奈川県)
8月	しょうじゅの里三保サテライト(神奈川県)
10月	たまプラーザ看護学校(神奈川県)

実地研修施設 1施設が合格

カテゴリー別評価方針承認

ユニットケア研修推進事業合同会議

7月28日、推進協は2022年度第1回ユニットケア研修推進事業合同会議をオンライン開催し、2議案いずれも承認された。

出席者は、国際医療福祉大学の杉原素子教授、日本社会事業大学の児玉桂子名誉教授、NPO法人メイアイヘルプユーの鳥海房枝事務局長、日本看護協会の堀川尚子氏、推進協の赤枝眞紀子会長ら。

第1号議案 2022年度ユニットリーダー研修実地研修施設選定調査合格/マモリエあいら(鹿児島)が合格

6月から7月にかけて実施した3施設の実地研修施設選定調査の可否について審議した。審議の結果、鹿児島県始良市の特別養護老人ホームマモリエあいら(社会福祉法人クオオラ)が合格、2施設が不合格となった。

鳥海委員は「事務局は不合格となった施設に対し、モチベーションが下がらないよう、再チャレンジしようと思ってもらえるようなフォローをしてほしい」と意見を述べた。

【選定調査合格基準】 調査員2人が現地を訪れ、設備面への配慮、取り組み体制、個別ケアの実践、研修設備、研修受入体制を採点し、100点満点の総合点で合格を決定する。合格には各調査員の総合点とも70点以上であることが必要。また、実地研修施設選定委員会で実地研修施設として適切であると認められなければならない。

【実地研修施設の応募基準】 ①ユニットケア導入後、3年以上経過した施設。②ユニットケア施設管理者研修修了者およびユニットリーダー研修修了者が2名以上勤務している施設。③ユニットリーダー研修実地研修施設の選定調査項目の自己評価が7割以上。

カテゴリ評価	対処方針
60%以上	選定調査員の具体的な指摘に真摯に対応することを求める旨の文書を合格通知書に添付する。その上で、サイクル的に実施される概ね3年ごとの更新調査の際、当該カテゴリについてその確認を実施するものとする。
60%未満	実地研修施設を目指す段階で何をすればよいか理解しユニットケアの質向上に取り組んでいること、選定調査員から具体的な指摘もされることなどから、問題点への対処の方向性は理解していると思慮されるため、改めて対処の方向性を、施設の改善方針としてカテゴリ別に文書(様式は任意)により明確に表明させ、その文書の提出(審査は行わないが調査員の確認は実施)を持って合格とする取り扱いとする。その上で、サイクル的に実施される概ね3年ごとの更新調査の際、当該カテゴリについてその確認を実施するものとする。

第2号議案 カテゴリー別評価対処方針について
選定調査結果の総合点が70点以上で合格であったとしても選定調査の5分野のカテゴリ別に見た際には、70%未満のカテゴリについては、何らかしらの対応が必要ではないかといった意見が以前の委員会であった。そこで、事務局が作成したカテゴリー別評価対処方針案について審議し承認された。対処方針は今後の選定調査から適用する。

カテゴリ	項目数	配点
A 設備面への配慮	8	16
B 取り組み体制	13	26
C 個別ケアの実践	17	34
D 研修設備	4	8
E 研修受入体制	8	16
計	50	100

推進協 令和4年度新規創設 看護師向け研修 初開催

ユニット型施設での 看護職の役割



8月3日、推進協はユニット型施設看護師研修(1回目)をオンラインで開催し、約30名が受講した。講師は看護師資格を持つ「特別養護老人ホームあんり」の八尾英人施設長。

この研修では入居者の重度化に伴って医療的ケアのニーズが増加する中で、チーム医療のキーパーソンとなる看護師のユニット型施設における役割と看護のあり方について1回あたり90分の内容を3回シリーズで学ぶ。1回目の講義では、病院と施設

設における看護職に求められる役割の違いや、尊厳を守りその人らしさを実現するために必要なこと、多職種連携の重要性などを説明した。

八尾施設長は「できない理由を述べる前に、リスクを最小限に抑える方法を探しながら、利用者が望むことを実現できるように考えてほしい」「5つのポイント(責任、話し合い、目標は同じ、対等な立場、尊重・敬意)を守ったり、大切にしたりすることが最終的に利用者の利益につながる」と語った。

また、利用者の健康管理だけでなく、施設の感染症まん延防止や職員健康管理も、看護職の役割だと話した。モニター越しの受講者は講師の話に聞き入り、時々うなずく様子が見られた。年度内に同様の看護師向け研修を1回開催する予定。

回	テーマ
第1回 8月3日	尊厳を守る入居者本位のケアと多職種協働について
第2回 8月10日	施設看護師の役割について① ～生活ニーズを優先した看護展開の実際～
第3回 8月17日	施設看護師の役割について② ～身体拘束廃止の取り組みと業務の合理化について～ ～看取り介護の実際、その方の人生を生ききる支援について～

第2回 介護保険委員会

PR動画 総務企画広報委員会と連携

7月21日、推進協は第2回介護保険委員会を開き、前回の会議で議題となったユニット型施設の魅力を発信するPR動画の作成の詳細について検討した。ユニット型施設のメリットをアピールするだけでなく、家族が介護サービスを利用する必要性に迫られたときに、介護施設の特徴や特養の特例入居の説明など、わかりやすい動画があると良いといった意見もあがった。今後は総務企画広報委員会と連携し、理事会上に上程することとなった。

次期改定に向け 各課題の論点整理へ

次期改定に向け、次回の介護保険委員会では課題を持ち寄り、論点整理の上、要望事項をまとめることになった。次回は8月22日開催予定。
出席者は藤村二朗介護保険委員長(久住会理事長)、若月剛治委員、広嶋稔之委員、上田かな委員、大塚小百合委員の5名。

外国人 介護人財マッチングイベント 開催のお知らせ
8月25日(木) 14時～16時 オンライン開催
お申し込みは8/1～HP公開のメールで受付

(株)推進協は、(一社)推進協と連携して介護施設の人財確保を支援するため、介護職を目指す外国人と介護施設を結びつけるマッチングイベントをZoomで開催する。介護施設であれば誰でも参加可能。
第一弾は在留資格特定技能によるネパール人とスリランカ人で、両国にパイルを持つ登録支援機関の合同会社4 Y O U & B I N I 合同会社(島田洋代表、リンプ・プラモド共同パートナー。以下、合同会社)が抱える人財。両国には200人ほどの希望者がいる(島田代表)としており、今後、継続的に実施していく予定。
採用までの流れは、マッチングイベント後、施設は採用希望を合同会社にメール送信。合同会社は希望多数の場合は優先順位をつけ高い方から順に面接。決定した段階で面接は終了。合同会社が入国手続きをして、入国。採用決定から就業まで概ね3カ月。登録支援機関は入国後の生活支援も実施。詳細は(株)推進協のホームページにて公開中。

研修トピックス

尾島の視点 種を蒔き続けたい

もし、明日、世の終わりが来るとしたら、私は種を蒔きたい。種はすぐに芽を出すわけでもなく、途中で枯れてしまうかもしれない。成長して花が咲き、実を結ぶのはずっと先のこと。私はその花を愛することも、実を食べることもできません。それでも私は種を蒔きたいのです。
私に明日が来なくても、今日私にできることを一生懸命したい。なぜなら、その行為は次の世代、未来の世代に向けて種を蒔くことであり、次に繋げるために積極的「生きる」姿勢を示すことになると思うからです。

宗教改革者として知られるマルティン・ルター(1483～1546)が言ったとされる「たとえ明日、世の終わりが来ようとも、今日私はリンゴの木を植えよう」という言葉に深い感銘を受けて以来、私も「種を蒔こう」という思いを胸に、介護福祉士養成に携わってきました。

次の世代を担う人たちに、私がこれまで培ってきた介護に対する思いを種に込め、蒔き続けたい。どの種がいつどこで花を咲かせ、実を結ぶのか、誰にもわかりませんが、だからこそ、諦めずに手を休めることなく、種を蒔き続けようと思えます。

私にとって「種を蒔く」機会は研修です。研修で出会った受講生の心に種を蒔く。その種が3年後、5年後、10年後に花開くことを願い、信じ、受講生に思いを馳せながら。推進協の研修は未来に繋がる研修でありたいと思います。

今月の注目研修

次世代の介護福祉士を養成する教員や指導者の資格を取得できる講習会の申し込み受付中です。
●実習指導者講習会(第4回)
●実務者研修教員講習会(第3回)
※詳細はホームページで!
(尾島朱美研修室長)

佐賀県 社会福祉法人 天寿会

特別養護老人ホーム玄海園

～ 地域に根差した温もりのある施設を目指して～



【施設の紹介】

2007年、「玄海園」は玄海灘に面する国道204号線沿いの丘の上に開設された。西唐津駅から約15キロ、車で30分の距離にある。施設からは玄海原子力発電所が見える。2013年に推進協のユニットリーダー実地研修施設になった。



1階には体操教室などを開催する地域交流スペースのほか、中庭や売店、仏間などがある。2階、3階にそれぞれ5ユニットずつ、木の温もりが感じられる設えの個室となっている。



○花と緑に囲まれた暮らし
施設のあちろちろに飾られている生け花。華道の先生が毎週お花クラブの講師として訪れる際に、玄園やお風呂場、各ユニットの入り口など、20カ所以上に生けてくれる。お花クラブで生けた花や職員が持ち寄



った観葉植物なども飾られていて、一年中花と緑にあふれている。



【施設の取り組み】

○よかばっ会
機能訓練の一環として、週に2回、外部講師を招いて体操を行っている。コロナ対策のため、講師はZOOM越しで指導をしている。
※「よかばっかい」とは「いいことずくめ」という意味の方言なんだそう。



○写真スポットを作成

コロナで外出する機会が以前より減ったため、昨年四季を感じる写真スポットを作成。5月の節句の時期には飾られた鯉のぼりと兜を見て、入居者からは「もうそんな季節になったねえ」「家にも昔は飾ってあったよ」と昔を思い出して懐かしむ声がかれた。



○職員手作りの竹灯籠
夏祭り開催に向け、職員が製作中。竹を切つて、電

動ドリルで穴を開け、皮を削つてニス塗り、明かりを灯して完成。コロナで開催延期となったので、お目見えは少し先になりました。



【黒木和美施設長から】

これからも職員と共に「ユニットケアで家庭のように、家族のように」をモットーに、人と人の繋がりのなかで、地域に根ざした温もりのある施設を目指していきます。



【取材後記】

実地研修施設になって10年目を迎える玄海園。日々の積み重ねの結果なのでしょが、成熟した落ち着きと心地よさがありました。そして、何より職員が「玄海園が好き」という気持ちが強く伝わってきました。
(事務局・山崎)

〒847-1432 佐賀県東松浦郡玄海町平尾432-8 TEL 0955-51-3600 FAX 0955-51-3601 URL : <https://genkai.tenjukai.com/>

【特養】定員92人(9ユニット) 【ショート】定員8人(1ユニット)

長崎県 社会福祉法人 樹陽会

特別養護老人ホームプレジールの丘

～ 我が家のような心地よい暮らしを～



【施設の紹介】

2007年、「プレジールの丘」は長崎市に開設。長崎駅から約4キロ、車で10分ほどの高台に位置する。長崎駅前から6分間隔で運行している路面電車に乗って桜町下車して、徒歩6分とアクセスも良い。施設からは長崎港や女神大橋などを眺めることができる。2014年には推進協のユニットリーダー実地研修施設になった。



【PEAPに基づいた空間づくり】

約8年前から認知症高齢者への環境支援のための指針(PEAP)を学び、高齢者の暮らしに適した環境づくりに取り組んでいる。入居者一人ひとりにあった空間づくりをすることで、落ち着いて暮らすことができる。職員の取り組みが継続できるように1回、設えコンテストを開催している。



長崎くんち：10月7、9日の3日間、長崎市内で開催されるお祭り。市内はく

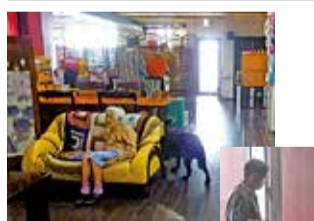
もんにとつてはわくわくするお祭りなんだそう。

○ユニットの玄関
施設開設時はユニットの入口に扉を設置する必要がなかったそうで、ショートステイを含めた6つのユニットの入り口にはユニットの区切りがわかるように、各ユニットリーダーの創意工夫で玄関を設えている。



○好きな空間で過ごす

日中はセミパブリックスペースを外を眺めて過ごす人、電子オルガンを弾いて過ごす人、リビングでテレビを見て過ごす人、それぞれ自分の好きな空間で自分のペースで過ごしている。落ち着いて過ごせるよう、必要とされる場所にソファや椅子、テーブル、テレビが置かれ、人の視線が気にならないよう家具などで仕切られている。



色、長崎

【動物とのふれあい】

上田施設長は自宅で飼っているフクロモモンガのレノンちゃんとミヤちゃん、マイクロピッグのギャビーちゃん、訓練犬のラブラドル・レトリバーのメギちゃんを連れて出勤している。動物たちは施設の人気者、入居者の癒しになっている。メギちゃんは施設を我が家のように自由に歩き来して過ごしている。マイクロピッグを長崎で一番最初に飼い始めたことが話題となってギャビーちゃんには長崎国際テレビの情報番組「あさじげ乙」から取材が来たそう。



【上田かな施設長から】



「プレジールの丘」の語源はフランス語で「心地よい」という意味があるそうです。これからは我が家のよう心地よく暮らしていただけのように、職員とともに取り組んでいきたいと思っています。

【取材後記】

施設内の見学中、メギちゃんが先頭に立って案内してくれました。人も動物も自由に穏やかに暮らしている印象を受けました。
(事務局・山崎)

〒850-0024 長崎県長崎市立山2丁目16-5 TEL 095-829-3270 FAX 095-829-0344 URL : <https://www.juyukai.com/tokubetu/>

【特養】定員50人(5ユニット) 【ショート】定員10人(1ユニット) 【デイ】定員15人

介護「ユース・ダイジェスト」

6月25日(土)
7月25日(土)

■厚労省事務次官に大島氏(6月28日)
厚労省事務次官に大島一博・政策統括官が昇格。政策統括官の前は老健局長を務め、介護行政の経験も長い。

■推進協 定時社員総会を開催(6月29日)
推進協は、第17回の社員総会をオンライン方式で開催。21年度決算や事業報告、役員人事について審議した。

■日慢協 武久会長(推進協徳島支部長) 勇退、名誉会長へ。安藤高夫氏(推進協理事)は副会長就任(6月30日)
日本慢性期医療協会は30日、通常総会を開き、新会長に橋本康子副会長(橋本病院)を選出。副会長に推進協理事でもある安藤高夫氏(永生病院)が就任した。

■推進協 介護保険委員会開催(7月1日)
令和6年4月の報酬改定に向け、介護保険委員会でも議論。ユニット型施設の特長や良さを分かち合おうという取り組みが必要との認識で一致。動画の公開を検討へ。

■厚労省、介護キャリアアセスメントの活用呼びかけ(7月4日)
「介護キャリアアセスメント」は、我が国で唯一の「介護技術評価基準」に基づき、評価者(アセスサー)が、介護職員の実践的な職業能力の評価を行い、その評価結果に基づいて介護技術の標準化を進めるもの。

■介護テクノロジー活用で効果測定(7月5日)
厚労省は介護給付費分科会で、今年度実施するテクノロジー活用等による生産性向上の取り組みに関する効果測定事業を説明▽見守り機器を活用した夜間見守り▽介護ロボットの活用▽介護助手の活用▽介護事業者などからの提案手法の4テーマで実施。

■福祉医療機構調査 物価高騰、特養の9割が「影響あり」(7月6日)
コロナ患者の受け入れ経験のある施設は約2割、そのうち補助金の需給施設は、約6割に留まる。いずれも本年6月の調査。

■厚労省 介護福祉士国家試験の概要発表(7月8日)
第35回介護福祉士国家試験の実施が官報で公告された。筆記試験は令和5年1月29日(日)、実技試験は同年3月5日(日)。受付は9月9日(金)まで。

■参議院選挙 自民党自見はなこ氏が再選(7月10日)
自見氏の得票数(21万3千票超)は一期目を上回る。自見氏は推進協の推薦候補。

■介護施設的全職員コロナワクチン4回目接種へ(7月14日)
岸田首相は記者会見で、重症化リスクのある高齢者を守る事が重要として、新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種対象を介護施設の全ての職員に拡大する方針を表明。

■厚労省、介護職員の処遇改善の臨時調査へ(7月14日)
厚労省は今年度、介護職員の処遇改善の進捗状況を把握するための臨時調査を実施する。結果の公表は来年4月頃。

■厚労省 介護施設の集中検査を全都道府県に要請(7月15日)
BA・5系統への置き換わりを見据えた感染拡大への対応が目的。特に重症化リスクの観点から入所系の高齢者施設等は集中検査を要請した。

■行政への要望随時提出窓口を設け(7月21日)
厚労省は介護保険部会の専門委員会などで介護分野の行政手続に関する簡素化、利便性向上に係る要望を随時に提出できる受付フォームの設置及び、介護事業のオンライン

申請の導入を提案。規制改革実行計画を受けての対応。(注参照) ■推進協 介護保険委員会開催(7月21日)
ユニット型施設の特長や良さを分かってもらう動画を総務企画広報委員会と共同して作成していく方針を決定。併せて、今回は要望事項の項目立てを検討することに。

■介護職員コロナワクチン4回目接種対象に拡大(7月22日)
厚労省の厚生科学審議会・予防接種・ワクチン分科会決定。厚労省はこの背景として、2022年7月初め頃から、新規感染者が急速に増加していること、4回目接種を開始して以来、新たにWHOから医療・介護従事者への4回目接種の利点に関する見解が示されていることを挙げた。

■厚労省 コロナ施設内療養期間を9月末まで延長(7月25日)
病床ひっ迫によるコロナ感染者の高齢者施設等における施設内療養期間を7月末から9月末まで延長。

■厚労省 介護保険部会で介護人材の確保、介護現場の生産性向上を議論(7月25日)
施設や在宅におけるテクノロジーの活用の推進、介護現場のタスクシェア・タスクシフティング、経営の大規模化・協働化、文書負担の軽減等を議論。いずれも介護保険の制度改正に繋がるテーマ。前回改定時の宿題や規制改革実行計画等を受けたもの。

(注) 厚労省は、要望を随時に提供できる受付フォームを活用し、要望の内容に応じて、専門委員会などで検討を行い、併せて地方公共団体に対する要望については、必要に応じて当該地方公共団体に対する助言等を行うとしている。

これまで要望をシステムチェックに受付ける仕組みはなかった。この制度では、国が自治体に対し、様式・添付書類、システム、提出方法、法令条例、その他について要望できる内容となっている。

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 試用期間中の職員の休職

【今月の相談内容】

試用期間が3カ月の職員が、1カ月ほどでメンタルヘルス不調となつてしまひ、約1カ月欠勤しています。当法人には、私傷病(※)による欠勤が1カ月を超えた場合に休職とする規定がありますが、試用期間中の職員にも適用しないといけないのでしょうか。
※労働者の業務外でのケガや病気による休職のこと

【回答】
休職の適用等について試用期間中かどうかや勤続期間によって差を設けることは問題ないと考えられます。ご相談のように就業規則等に試用期間中の職員については休職の適用はしないという定めがあるのであれば、休職を取らせなくても問題ないと考えられています。勤続年数が一定期間に満たない場合は、休職を与えないとする定めがある場合も同様です。

一方、試用期間中の職員を除く外する規定が就業規則にない場合、裁判例等がないので明確なことは言えませんが、試用期間中の職員であっても休職を与えざるを得ないと考えます。さらに、この状況を理由に解雇することは基本的に認められません。解雇は「社会通念上相当地な理由」がなければ行えません。よって、就業規則に休職期間の上限期間が定められている場合で、かつ、この期間満了後、復職できない場合の取り扱いがさらに必要となつてきます。詳しくは、社会保険労務士にご相談ください。



推進協監事・特定社会保険労務士 栗田淳二

ユニットケアワンポイントセミナー 再開

友共事業事例発表会 (オンライン開催) 参加無料

推進協は昨年3月から休止していた「ユニットケアワンポイントセミナー」を9月から再開します。今年度は友共事業として会員施設に参加を呼びかけ、専門職の事例研究を発表していただくことになりました。テーマは、介護分野、生活支援分野、安全対策分野、栄養・口腔分野の4つ。会員、非会員ともに参加費は無料です。お申し込みをお待ちしております。

日程	テーマ	内容(発表施設)
9/20(火)	介護分野	・みんなで創る夏祭り(ローズガーデン条南苑) ・最期までその人らしく～多職種が思いを汲み取る看取りケア～①(岐南仙寿うれし野)
9/27(火)		・最期までその人らしく～多職種が思いを汲み取る看取りケア～②(岐南仙寿うれし野) 【特別講演】看取り介護 推進協・尾島朱美研修室長
10/18(火)	生活支援分野	・スタッフのパワーアップを目指して(ローズガーデン条南苑) ・アニマルセラピー(慈眼寺園)
10/25(火)	安全対策分野	・服薬マニュアルの見える化(ハートステージ鳳) 【特別講演】リスクマネジメント 推進協・尾島朱美研修室長
11/15(火)	栄養・口腔分野	・食べない・どうする?(志ノ町) ・「チョコレートが食べたい」最期までお口からの試み(せんねん村矢曾根)
11/22(火)		・厨房 直営化の取り組み(共生の里) ・職員の健康増進へ向けた取り組み(梅光園)

お申し込みはWeb (suishinkyo.net) で **推進協**

入会施設のご紹介

【青森】 ことぶき苑
(福) 叶福祉会
理事長 花田昭一
施設長 花田洋三郎
五所川原市金木町
喜良市桔梗野20-9

【宮城】 泉ふるさと村
(特養) 大石ヶ原会
(福) 千田勝見
理事長 千田勝見
施設長 佐々木理大
仙台市泉区松森字岡本前27

【長野】 インターコート藤
(老健) 百藤会
(福) 北澤邦彦
理事長 北澤邦彦
施設長 北澤邦彦
長野市青木島町綱島782-16

【神奈川】 横濱かなざわ翔裕園
(特養) 長寿村
(福) 長寿村
理事長 神成裕介

賛助会員のご紹介

7月にご入会いただいた企業をご紹介します。

●株式会社小山商会仙台支店
仙台市若林区卸町東1丁目8番23

●株式会社バイオシルバー
横浜市港北区新横浜2-14-4

【賛助会員数】 18事業所
(令和4年8月4日現在)

事務局から

先月、九州の実地研修施設を5施設訪問してきました。コロナ禍で普段以上に大変な状況のはずなのに、どの施設もゆったりと時間が流れ、入居者の視点に立ったケアが行なわれていました。実地研修施設を目指す施設が増えてほしいと思います。